令和4年における神奈川県の自殺者の状況

(警察庁の自殺統計を基に作成)

2 令	3和4年自殺者の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(1)	男女別の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(2)	年齢階級別の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(3)	職業別の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(4)	原因・動機別の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(5)	自殺未遂歴の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3 詳 (1)	詳細データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(2)	
(3)	男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況 ・・・・・・・・・ 曜日別の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(4)	—: · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(5)	年齢階級別自殺死亡率の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(6)	男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(7)	男女別・年齢階級別の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(8)	年齢階級別、原因・動機別の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(9)	職業別、原因・動機別の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(10)	原因・動機別内訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(11)	年齢階級別、自殺未遂歴の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	同居人の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

本県の自殺者数は、平成19年から23年にかけて1,800人台で推移していたが、平成24年以降は減少傾向となった。令和元年は1,076人と平成10年以降で最少となったが、令和2年は1,269人と増加に転じ、令和3年は若干減少したものの、令和4年は115人増加し1,337人となった。

自殺死亡率は、平成24年以降減少傾向となり、令和元年は11.7と平成9年以降で最少となったが、令和2年は2.0ポイント増加し、13.7となった。令和3年は減少したが、令和4年は増加し、14.5となった。

図1-1

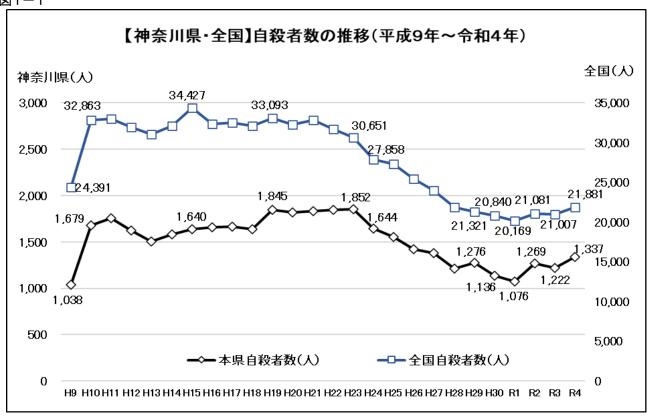
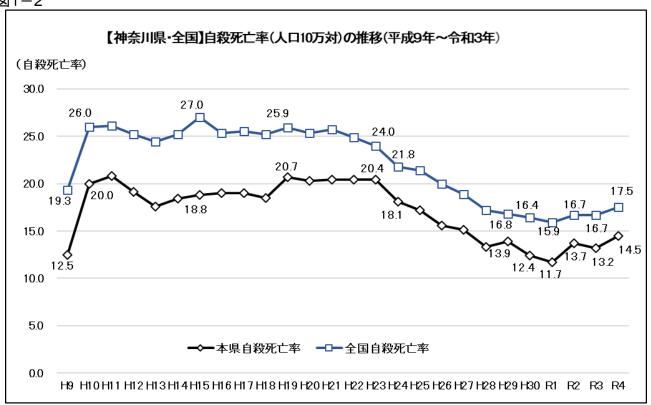


図1-2

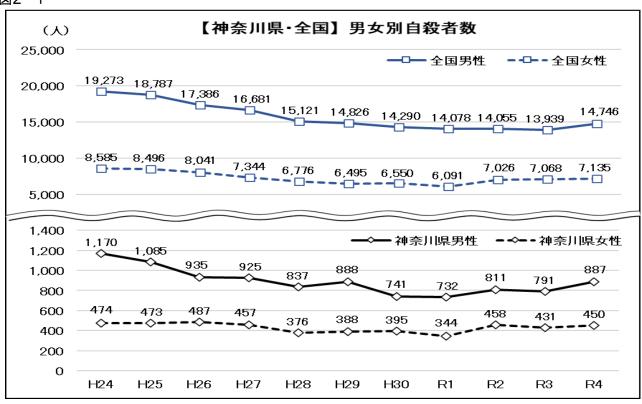


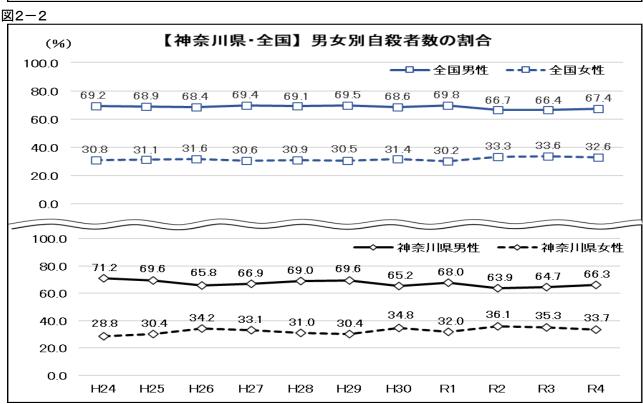
2 令和4年自殺者の状況

(1) 男女別の状況

本県の令和4年における男女別自殺者数は、男性は前年より96人増の887人、女性は前年より19人増の450人となっている。男女別自殺者の割合は、ほぼ男性が7割、女性が3割で推移しているが、令和2年は、男性が63.9%、女性が36.1%で、女性の割合が増加した。令和3年、令和4年とも男性の割合が増加したが、神奈川、全国ともに女性の自殺者数は高止まりしている。

図2-1





(2) 年齢階級別の状況

本県の令和4年における年齢階級別の自殺者割合は、50歳代が最も多く、次いで40歳代、20歳 代の順となっている。

なお、全国と比較して、本県は20歳代、40歳代、50歳代の割合が多い。自殺者数の前年比較で もこの年代が増加、30歳代、70歳代は減少した。男女別でみると、20歳代は男女ともに増加、20 歳未満と 40 歳代から 60 歳代までの男性の自殺者数が増加していた。20 歳未満については、過去 10年間で一番多くなっている。

図2-3

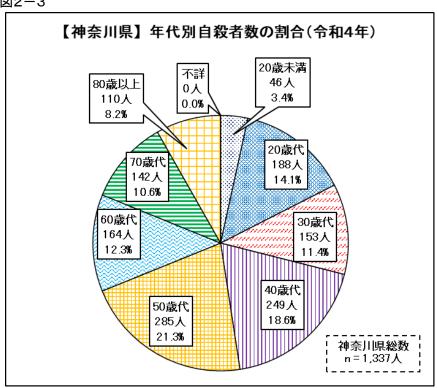
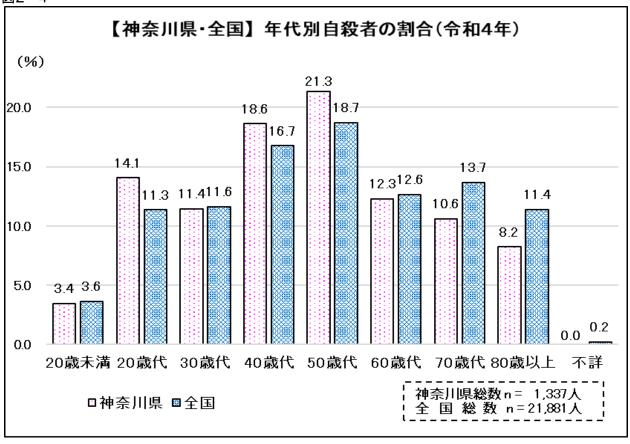
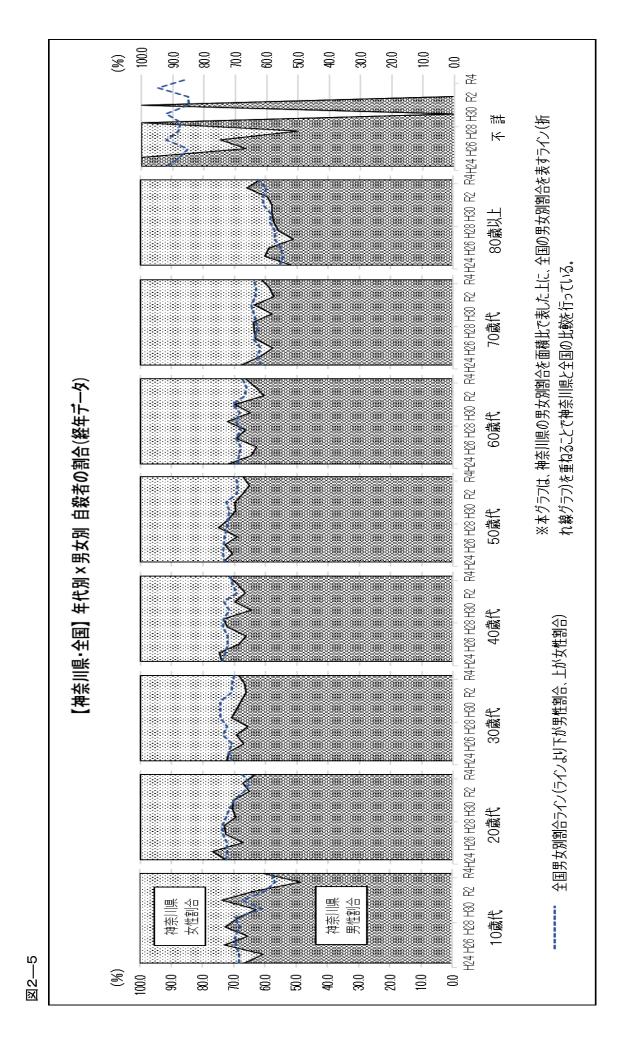
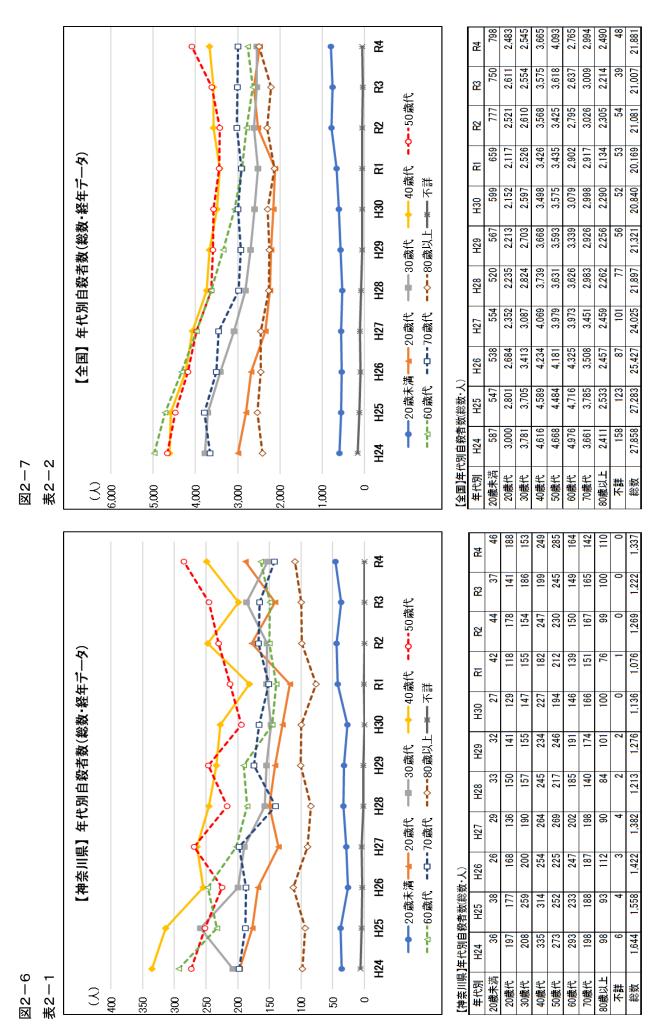


図2-4







2,848 1,906 14,746 1,672 2,611 1,862 1,558 ₹ 72 13,939 2,519 2,492 1,892 669 ,810 1,741 1,323 쮼 Ξ ----50歳代 1,912 1,405 14,055 1,846 2,466 1,859 1,684 2,371 잂 \mathbb{Z} 14.078 2,045 1,882 1,294 1,483 1,878 2,511 2,497 443 【全国】年代別自殺者数(男性·経年データ) → 40歳代 ~ 0--0--0--0-- Ξ 2,499 2,558 1,913 14,290 1,538 1,930 2,103 1,335 366 -0----8 H H30 2,010 2,319 14,826 2,691 2,593 1,841 1,320 396 1,607 ───30歳代 H29 H29 15,121 1,652 2,043 2,751 2,628 2,463 1,870 1,292 354 89 H28 H28 1,731 2,272 2,932 2,906 2,759 2,198 1,405 16,681 ──20歳未満───20歳代 385 ----60歳代 ----70歳代 H27 H27 P----0 1,945 2,413 3,068 2,165 1,359 17,386 3,047 2,942 H26 H26 (全国]年代別自殺者数(男性·人) 18,787 2,024 2,659 3,344 3,303 3,224 2,370 1,381 8 H25 H25 19.273 3,446 2,681 3,417 3,417 2,253 1,337 145 400 2.177 H24 H24 図2-9 表2-4 20歳未満 80歳以上 20歳代 30歲代 年代別 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 総数 井 38, 3,500 3,000 2,500 2,000 28 0 500 8 105 179 192 109 68 87 887 72 ***** \$ 95 124 160 94 97 791 22 쫎 ----50歳代 155 811 28 102 164 96 59 91 윋 \mathbb{Z} 【神奈川県】年代別自殺者数(男性・経年データ) 83 105 127 148 96 44 732 97 곮 → 40歳代 Ξ 102 96 147 135 95 741 유 \$---\$ 유 110 88 22 88 28 177 138 Ξ ───30歳代 H29 H29 103 177 163 123 89 837 H28 H28 925 99 132 175 186 140 125 →-20歳未満---20歳代 ----70歳代 H27 H27 113 134 164 155 108 935 H26 【神奈川県】年代別自殺者数(男性·人) H26 **\$** ----60歳代 1,085 116 56 23 136 186 235 178 151 H25 H25 1.170 144 248 134 151 201 H24 H24 図2-8 表2-3 80歳以上 20歳未満 20歳代 40歳代 年代別 30歳代 50歳代 60歳代 70歳代 総数 盐 3<u>00</u> 0 250 200 50 20 8

1,054 1,245 1,088 81 933 ₹ 72 7,068 1,056 896 1.117 891 器 → 40歳代 - ◆ - 50歳代 1,102 1,054 936 1,114 7,026 900 837 764 \mathbb{Z} 2 938 857 1,035 840 915 年代別自殺者数(女性·経年·一夕) 216 634 648 6,091 Ξ 999 976 1,085 955 6,550 667 유 H 원 6,495 1,000 1,020 606 977 693 ---30歳代 H29 H29 988 1,163 1,113 6,776 970 583 781 H28 1,214 1,073 1,253 7,344 815 1,137 169 621 ──20歲未滿───20歲代 H27 H27 [全国] 1,113 1,383 1,187 8,041 1,000 H26 40-----H26 [全国]年代別自殺者数(女性·人) 1,245 1,492 1,415 1,152 8,496 1,046 1,181 15 777 H25 H25 8,585 1,100 1,530 1,408 1,199 1.074 823 1,251 187 H24 H24 巡2-11 表2-6 20歲未滿 80歳以上 60歳代 70歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 年代別 総 禁 3 8 400 200 0 200 909 8 88 9 48 69 48 70 93 55 55 450 \$ o \$ 46 62 62 85 55 68 431 22 쮼 ----50歳代 83 75 59 458 62 25 \$ 7 잂 \approx 【神奈川県】年代別自殺者数(女性·経年データ) 55 42 55 32 35 20 344 → 40歳代 ~ ₽ 45 59 395 51 H30 쮼 45 53 69 69 64 388 ---30歳代 H29 H29 376 54 62 62 51 40 H28 H28 89 83 ──20歳未満───20歳代 58 62 73 457 H27 H27 92 79 55 99 80 61 46 487 H26 [神奈川県]年代別自殺者数(女性·人) H26 79 74 82 72 37 473 73 4 H25 H25 64 87 H24 H24 図2-10 表2-5 20歲未滿 40歲代 70歲代 80歳以上 年代別 30歳代 50歲代 60歳代 20歳代 井 総数 3 8 0 0 8 2 9 20 90 40 30 20

(3) 職業別の状況

本県の令和4年における職業別の自殺者数は、無職(学生・生徒除く)が最も多いが、前年度より43人減り656人。次いで、有職者が前年比103人増の549人であった。また、年金・雇用保険等生活者が97人増の295人、失業者が34人増の77人、学生・生徒が17人増の70人と増加している。

図2-12

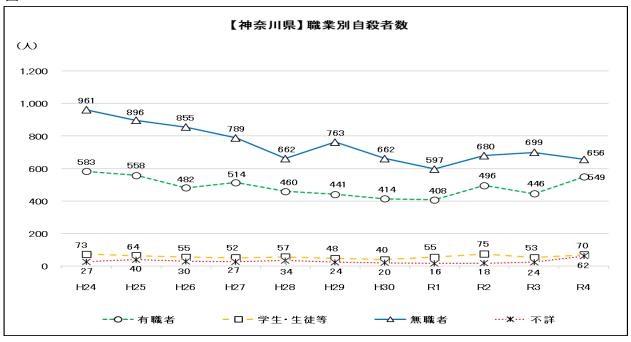
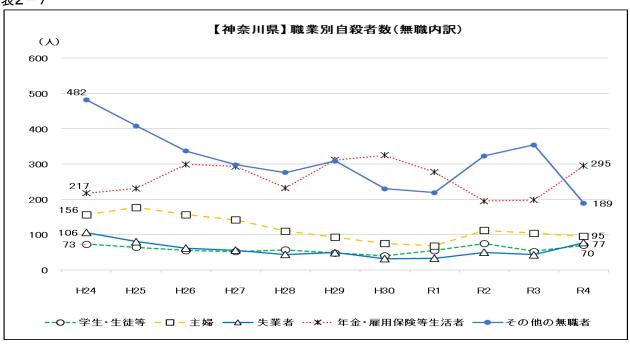


図2-13

表2-7



	無職内訳	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
	学生·生徒等	73	64	55	52	57	48	40	55	75	53	70
	主婦	156	177	157	142	110	93	75	68	112	104	95
無	失業者	106	80	62	56	44	49	32	33	50	43	77
職	年金·雇用保険等生活者	217	231	299	293	232	312	325	277	195	198	295
者	その他の無職者	482	408	337	298	276	309	230	219	323	354	189
	無職者計	961	896	855	789	662	763	662	597	680	699	656
	無職計	1,034	960	910	841	719	811	702	652	755	752	726

図2—14

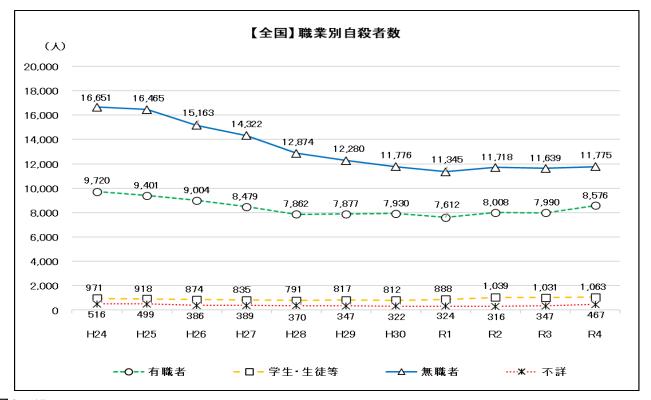
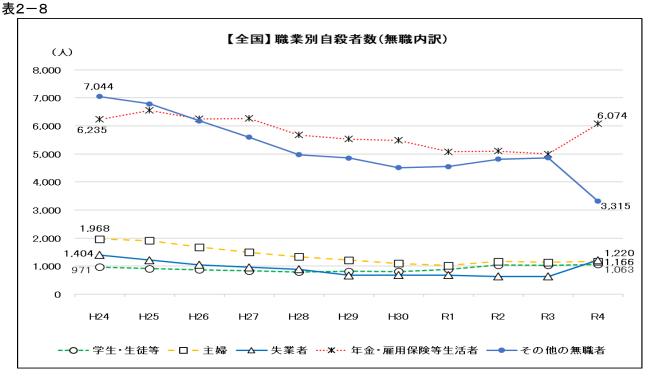


図2—15



	無職内訳	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
	学生•生徒等	971	918	874	835	791	817	812	888	1,039	1,031	1,063
	主婦	1,968	1,914	1,680	1,498	1,340	1,215	1,095	1,025	1,168	1,136	1,166
無	失業者	1,404	1,217	1,052	962	888	678	682	684	636	636	1,220
職	年金·雇用保険等生活者	6,235	6,551	6,250	6,267	5,675	5,534	5,484	5,081	5,101	5,001	6,074
者	その他の無職者	7,044	6,783	6,181	5,595	4,971	4,853	4,515	4,555	4,813	4,866	3,315
	無職者計	16,651	16,465	15,163	14,322	12,874	12,280	11,776	11,345	11,718	11,639	11,775
	無職計	17,622	17,383	16,037	15,157	13,665	13,097	12,588	12,233	12,757	12,670	12,838

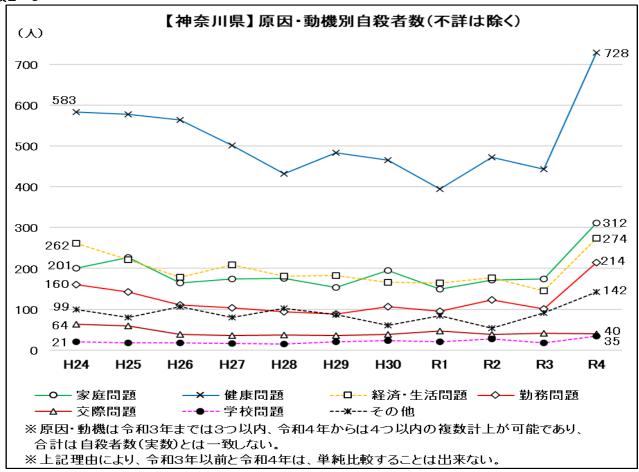
(4) 原因・動機別の状況

本県の令和4年の自殺者のうち、原因・動機が判明した自殺者は、「健康問題」が728人と最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」となっている。

各年齢階級別の原因・動機別では、「健康問題」が19歳以下を除くすべての年齢階級で第1位となっており、19歳以下は「学校問題」が第1位となっている。

自殺は多様で複合的な原因・背景があり、様々な要因が絡み合う中で起きている。

図2-16 表2-9



原因•動機別内訳	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
家庭問題	201	227	165	175	176	154	195	150	171	174	312
健康問題	583	578	564	502	432	483	466	394	472	443	728
経済·生活問題	262	221	178	209	181	183	166	164	177	145	274
勤務問題	160	142	111	104	94	88	106	96	123	101	214
交際問題	64	60	39	36	37	36	38	47	39	42	40
学校問題	21	18	18	17	15	21	24	20	27	18	35
その他	99	80	106	80	103	87	61	84	54	91	142
不詳	674	626	579	598	493	538	418	414	529	528	190
総計	2,064	1,952	1,760	1,721	1,531	1,590	1,474	1,369	1,592	1,542	1,935
自殺者数(実数)	1,644	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337

3つ以内 (原因・動機 (原因・動機

表2-10 【神奈川県】 令和4年における各年齢階級別の原因・動機別順位(第3位まで)と割合

TT JR / I JR Z	<u> </u>			() - - 0		
 年 代	第1位		第2位		第3位	
# 10	原因	割合	原因	割合	原因	割合
10歳代	学校問題	39.1%	健康問題	23.9%	家庭問題	21.7%
20歳代	健康問題	41.5%	勤務問題	22.3%	家庭問題	15.4%
30歳代	健康問題	37.3%	家庭問題	25.5%	勤務問題	22.9%
40歳代	健康問題	45.8%	経済・生活問題	28.9%	勤務問題	25.3%
50歳代	健康問題	53.0%	家庭問題	27.7%	経済•生活問題	26.3%
60歳代	健康問題	65.2%	経済・生活問題	25.6%	家庭問題	18.9%
70	健康問題	82.4%	家庭問題	20 00/	経済•生活問題	10.6%
70歳代	性 原问 迟	δ Ζ. 4%	外庭问 處	28.9%	その他	10.6%
80歳代以上	健康問題	84.5%	家庭問題	25.5%	その他	9.1%
全年代	健康問題	54.5%	家庭問題	23.3%	経済·生活問題	20.5%

[※] 不詳は除く。

[※] 原因・動機は4つ以内の複数計上可能であり、自殺者の割合は、自殺者数(実数)を母数として、それぞれの 原因・動機に該当した人数の割合を算出している。

(5) 自殺未遂歴の状況

本県の令和4年における自殺者のうち自殺未遂歴があった人は、前年より21人減少し、259人で自殺者に占める割合は19.4%となっている。また、男女別では、男性が125人(14.1%)、女性が134人(29.8%)で女性の方が人数が多く、依然女性の方が未遂歴ある割合が高い傾向にある。

図2-17

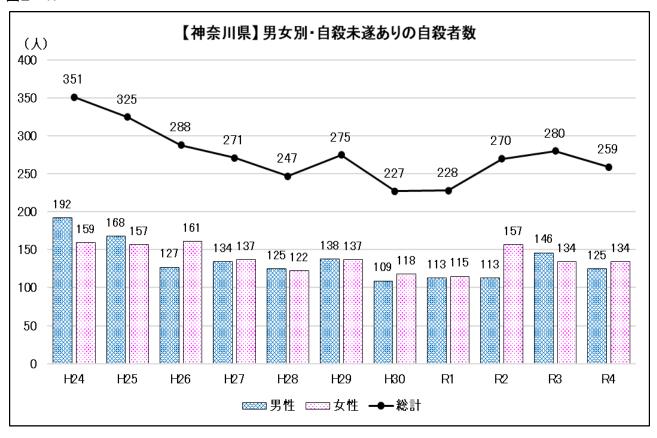
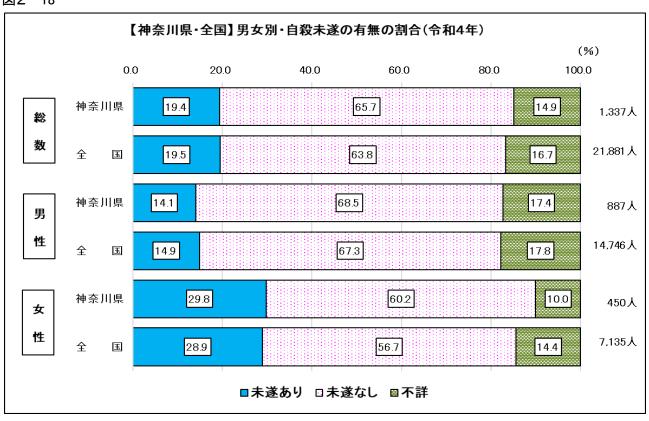
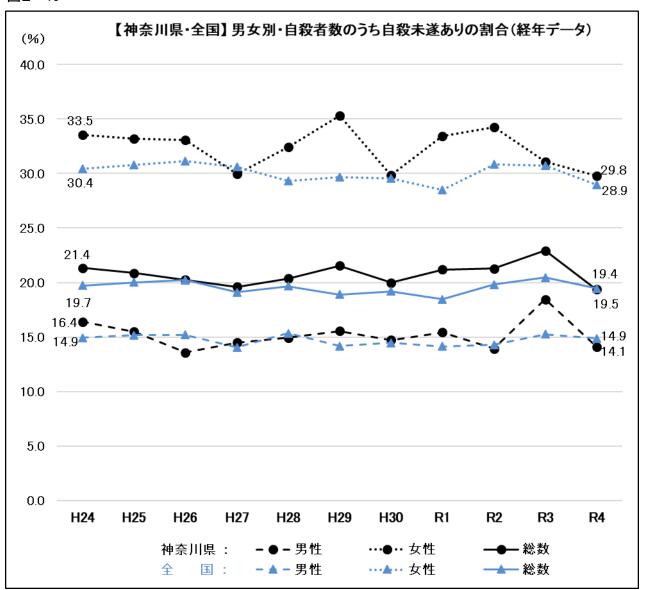


図2-18





3 詳細データ

(1) 月別の状況

令和4年の月別の自殺者数の状況を見ると、本県は「6月」が最も多いが、全国と同様「5月」も多い。最も少ないのは本県と全国ともに「2月」となっている。全国、本県ともに「2月」から「3月」にかけて増加率が高くなっている。

図3-1

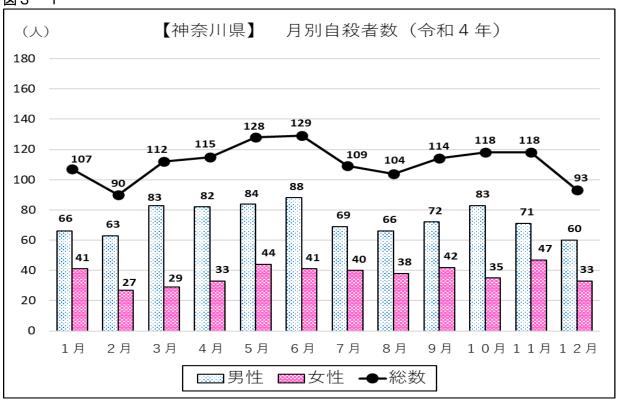
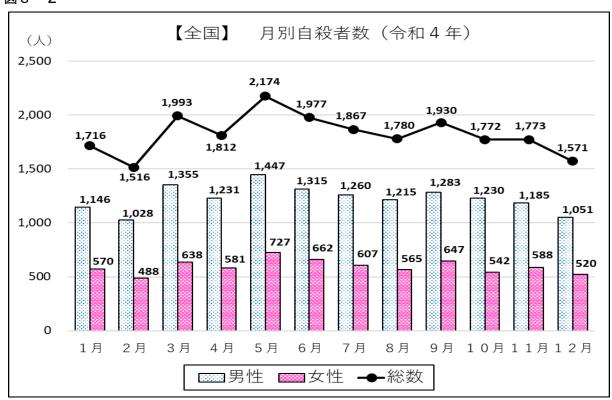


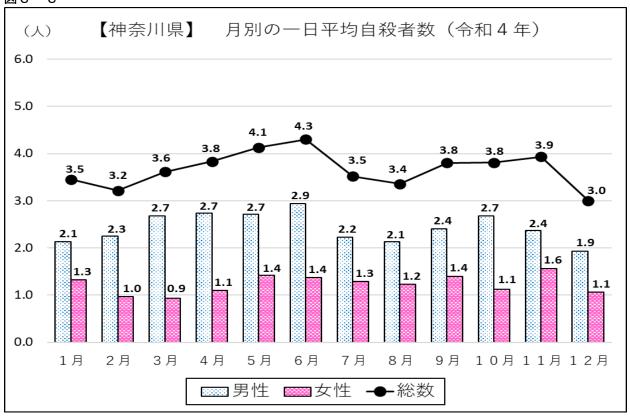
図3-2



月別の一日平均自殺者数の状況を見ると、総数としては本県は「6月」と全国では「5月」が多くなっている。

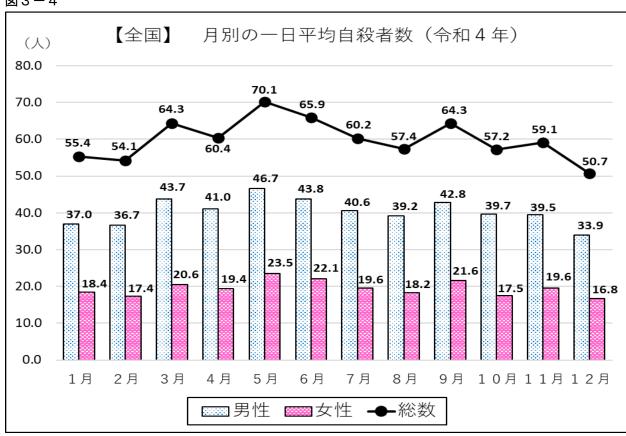
本県と全国ともに「12月」が最も少ない。

図3-3



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

図3-4



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

(2) 男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況

本県の令和4年における月別自殺者数の推移をみると、男性は「6月」が最も多く、女性は「11月」が最も多い。男女とも「2月」は自殺者が減少している。

特に男性は「4月」の40歳代、「5月」の20歳代、「9月」の40歳代、「10月」の50歳代、30歳代に、また女性は「4月」の50歳代、「5月」「7月」の20歳代、「11月」の40歳代に増加がみられる。

図3-5

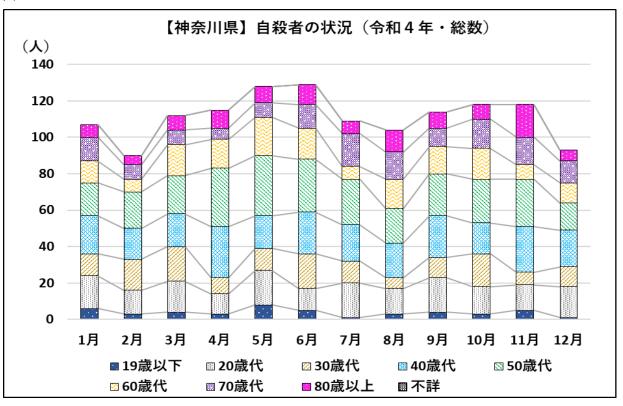


図3-6

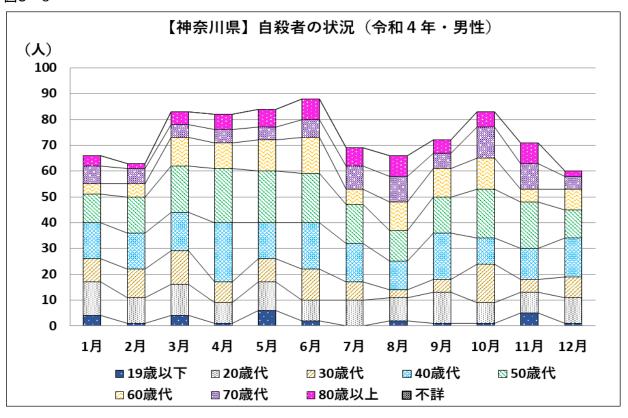
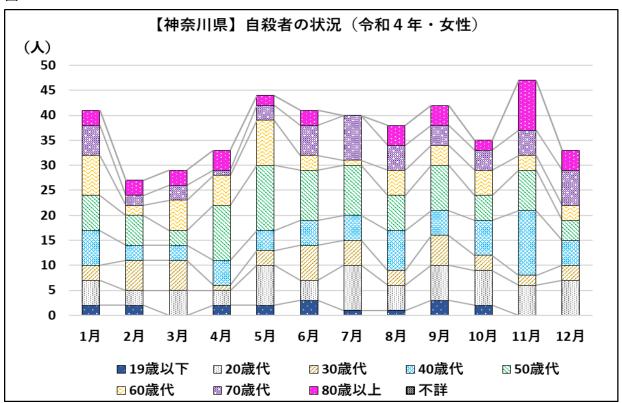


図3-7

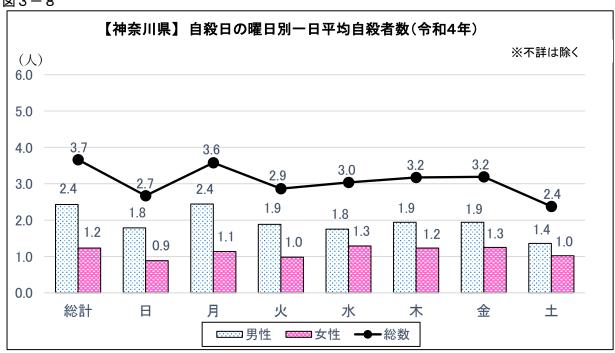


(3) 曜日別の状況

曜日別の一日平均自殺者数の状況を見ると、本県では男性は「月曜日」が最も多く、女性は曜日 別では大きな増減はない。

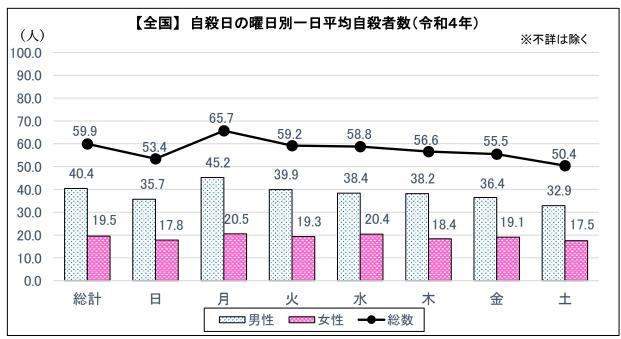
また、最も少ない曜日は、本県では男性が「土曜日」、女性が「日曜日」であるのに対し、全国では男女ともに「土曜日」となっている。

図3-8



- ※「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。
- ※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。
- ※「総計」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

図3-9

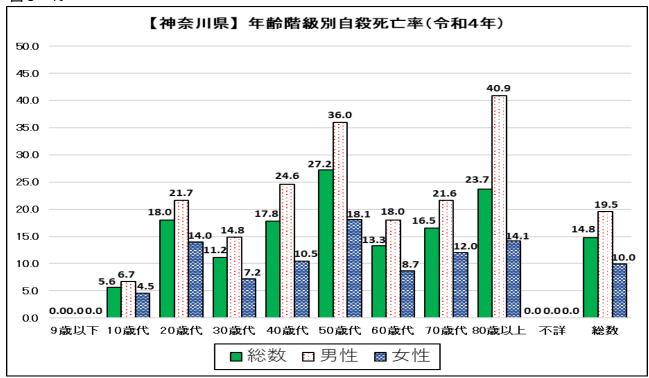


- ※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。
- ※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。
- ※ 「総計」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

(4) 年齢階級別自殺死亡率の状況

本県の令和4年における年齢階級別の自殺死亡率を見ると、男性は「80歳以上」が最も多く、次いで「50歳代」、「40歳代」の順となっており、女性は「50歳代」、「80歳以上」、「20歳代」の順となっている。

図3-10



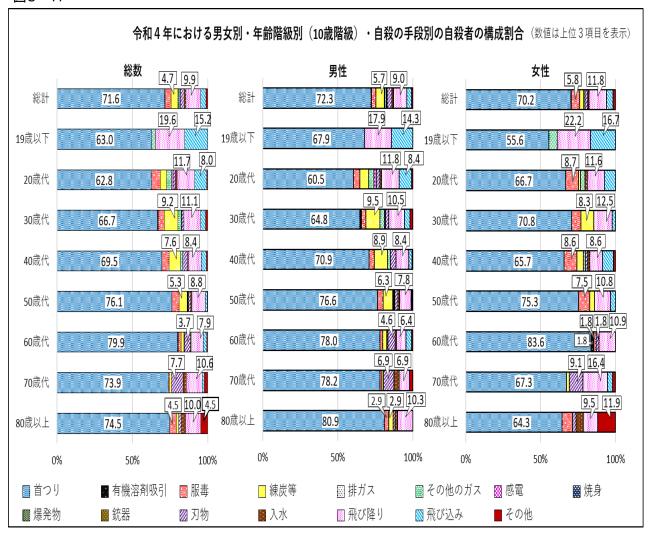
- ※ 自殺死亡率は、人口 10 万人当たりの自殺者数を表す(自殺者数÷人口×100,000 人)。
- ※ 各年齢階級別等の人口は、神奈川県年齢別人口統計調査(該当年1月1日現在)に基づく。

(5) 男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況

本県の令和4年における男女別・年齢階級別・自殺の手段別の構成割合をみると、男女ともにすべての年齢階級において「首つり」が最も多く、次いで「飛び降り」、次に男性は「練炭等」、女性は「服毒」の順となっている。

年齢階級別に見ると、「19歳以下」の男女では、「飛び降り」、「飛び込み」の割合が他の年代と比較して多く、「70歳代」の女性は「飛び降り」の割合が多くなっている。

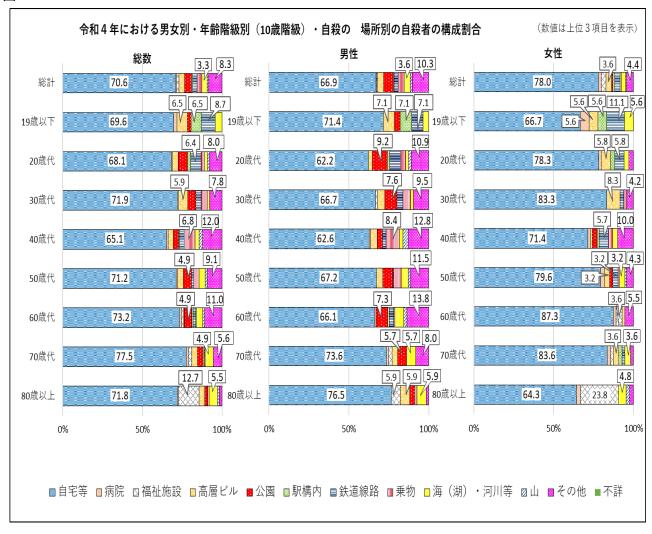
図3-11



(6) 男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況

本県の令和4年における男女別・年齢階級別・自殺の場所別の構成割合をみると、男女ともにすべての年齢階級において「自宅」が最も多い。男性では、「自宅」に次いで「その他」、「公園」の順となっており、女性では、「自宅」に次いで「その他」、「高層ビル」の順となっている。

図3-12



(7) 職業別・年齢階級別の状況

本県の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多く、次いで「有職者」「学生・生徒」 の順となっている。また、「無職者」の内訳を見ると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次 いで「その他の無職者」、「主婦」、「失業者」の順となっている。

さらに、職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」では「70歳代」が、「有職者」 では「50歳代」が、「学生・生徒等」では「19歳以下」が最も多くなっている。また、学生・生徒 のうち小学生から高校生が28人であった。「無職者」の内訳については、「年金・雇用保険等生活 者」では「80歳以上」が、「その他の無職者」では「20歳代」が、「主婦」では「50歳代」が最も 多い。「失業者」では「50歳代」が多くなっている。

なお、男女別の職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、男性では「50 歳代の有職者」が 最も多く、次いで「40歳代の有職者」、「30歳代の有職者」となっており、女性では「50歳代の主 婦」が最も多く、次いで「80歳以上」「70歳代」の「年金・雇用保険等生活者」の順となっている。

表3-1

- 注)学生・生徒等の「その他」は、「大学生」、「専修学校生」及び「予備校生」を足し合わせたもの。
- 注)無職者の「その他」は、「主夫」「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」等を 足し合わせたもの。

全国の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多く、次いで「有職者」、「学生・生徒等」の順となり、「無職者」の内訳は、多い順から「年金・雇用保険等生活者」、「その他の無職者」、「失業者」となっている。

職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「有職者」において、全国では 40 歳代が最も多いのに対し、本県は 50 歳代が最も多くなっている。また、「無職者」内訳の「年金・雇用保険等生活者」においては、全国では「70 歳代」が最も多いのに対し、本県では「80 歳以上」で多くなっている。

なお、全国の男女別の職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、男性では「50歳代の有職者」が最も多く、次いで「40歳代の有職者」、「30歳代の有職者」となっており、女性では「70歳代」「80歳以上」「60歳代」の「年金・雇用保険等生活者」の順となっている。

表3-2

【全国】 年齡階級別、職業別自殺者数(令和4年)

職	/	年齢階級		· <u>/、战</u> ~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 ~	不詳	合計
11,50,5	1 - 7 -		計	798	2,483	2,545	3,665	4,093	2,765	2,994	2,490	48	21,881
		合計	男	467	1,676	1,783	2,601	2,776	1,633	1,339	1,024		13,340
			女	331	807	762	1,064	1,317	1,132	1,655	1,466	7	8,541
			計	94	1,278	1,495	2,148	2,123	936	402	100	0	8,576
		有職者	男	67	907	1,165	1,719	1,738	796	329	90	0	6,811
			女	27	371	330	429	385	140	73	10	0	1,765
			計	633	411	12	7	0	0	0	0	0	1,063
		学生•生徒等	男	366	285	7	5	0	0	0	0	0	663
			女	267	126	5	2	0	0	0	0	0	400
			計	69	732	972	1,432	1,863	1,772	2,560	2,375	0	11,775
	無職者	男	33	447	558	813	958	791	986	923	0	5,509	
			女	36	285	414	619	905	981	1,574	1,452	0	6,266
		主婦	計	0	25	100	217	371	273	132	48	0	1,166
			男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	Ħ,		女	0	25	100	217	371	273	132	48	0	1,166
即	鈛		計	4	133	191	304	386	165	33	4	0	1,220
		失業者	男	2	97	138	257	321	142	27	4	0	988
			女	2	36	53	47	65	23	6	0	0	232
		年金•雇用	計	3	90	161	272	348	883	2,163	2,154	0	
		保険	男	3	47	80	131	138	327	798	810	0	2,334
		等生活者	女	0	43	81	141	210	556	1,365	1,344	0	
			計	62	484	520	639	758	451	232	169	0	3,315
		その他	男	28	303	340	425	499	322	161	109	0	2,187
			女	34	181	180	214	259	129	71	60	0	1,128
			計	2	62	66	78	107	57	32	15	48	467
		不詳	男	1	37	53	64	80	46	24	11	41	357
			女	1	25	13	14	27	11	8	4	7	110

[※] 無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を 足し合わせたもの。

(8) 年齢階級別、原因・動機別の状況

原因・動機別の自殺者数の状況を見ると、「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」の順となっている。

「健康問題」「家庭問題」では男女ともに「50歳代」が最も多くなっている。「経済・生活問題」では男性が「50歳代」女性が「20歳代」が最も多く、「勤務問題」では男性が「40歳代」女性が「20歳代」が最も多くなっている。このほか、「交際問題」では男女とも「20歳代」が最も多く、「学校問題」では男性が「20歳代」女性が「19歳以下」が最も多くなっている。

表3-3

【神奈川県】 年齢階級別、原因·動機別自殺者数(令和4年)

-	【作宗川宗】 中即陷极列、尔凶·到俄列日权有致(卫和44) ———————————————————————————————————												
厉	年齢階級別原因・動機別		~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 ~	不詳	合計	
	<u> </u>		55	249	183	334	389	208	190	137	0	1,745	
	合計		35	136	121	242	254	135	117	85	0	1,125	
		女	20	113	62	92	135	73	73	52	0	620	
		計	10	29	39	55	79	31	41	28	0	312	
	家庭問題	男	7	13	17	36	51	18	22	21	0	185	
		女	3	16	22	19	28	13	19	7	0	127	
		計	11	78	57	114	151	107	117	93	0	728	
	健康問題	男	4	27	32	62	76	56	68	52	0	377	
		女	7	51	25	52	75	51	49	41	0	351	
		計	4	33	29	72	75	42	15	4	0	274	
	経済·生活問題	男	3	24	26	64	67	38	13	4	0	239	
		女	1	9	3	8	8	4	2	0	0	35	
		計	0	42	35	63	55	16	2	1	0	214	
	勤務問題	男	0	26	33	56	43	15	2	1	0	176	
		女	0	16	2	7	12	1	0	0	0	38	
		計	3	15	9	9	3	0	0	1	0	40	
	交際問題	男	2	9	5	8	1	0	0	1	0	26	
		女	1	6	4	1	2	0	0	0	0	14	
		計	18	17	0	0	0	0	0	0	0	35	
	学校問題	男	12	13	0	0	0	0	0	0	0	25	
		女	6	4	0	0	0	0	0	0	0	10	
		計	9	35	14	21	26	12	15	10	0	142	
		男	7	24	8	16	16	8	12	6	0	97	
		女	2	11	6	5	10	4	3	4	0	45	

^{※「}原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

全国の状況としては、多い順から「健康問題」、「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」となっている。神奈川県と全国は総じて同じような傾向である。

表3-4 【全国】 年齡階級別、原因·動機別自殺者数(令和4年)

_	主国》 平断陷极为	'J 🔨 /	尔凶 刬	1成川日	权日奴	(T) 114	+ /					
月月	年齢階級別原因•動機別		~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50 ~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 ~	不詳	合計
	<u>計</u>		1,006	3,089	3,329	5,007	5,512	3,564	3,767	3,078	3	28,355
	合計		592	2,020	2,291	3,551	3,827	2,406	2,345	1,886	2	18,920
		女	414	1,069	1,038	1,456	1,685	1,158	1,422	1,192	1	9,435
		計	166	351	601	906	976	586	604	585	0	4,775
	家庭問題	男	98	221	363	555	593	364	334	357	0	2,885
		女	68	130	238	351	383	222	270	228	0	1,890
		計	222	947	1,150	1,838	2,196	1,828	2,491	2,102	0	12,774
	健康問題	男	89	475	627	1,059	1,249	1,044	1,486	1,272	0	7,301
		女	133	472	523	779	947	784	1,005	830	0	5,473
		計	25	499	673	1,049	1,232	705	380	133	1	4,697
	経済・生活問題	男	19	428	601	929	1,091	640	319	99	1	4,127
		女	6	71	72	120	141	65	61	34	0	570
		計	45	517	539	815	744	226	67	15	0	2,968
	勤務問題	男	37	398	460	709	651	208	60	15	0	2,538
		女	8	119	79	106	93	18	7	0	0	430
		計	80	315	177	147	82	16	7	4	0	828
	交際問題	男	46	163	99	99	57	13	5	3	0	485
		女	34	152	78	48	25	3	2	1	0	343
		計	354	219	4	2	0	0	0	0	0	579
	学校問題	男	224	163	3	2	0	0	0	0	0	392
		女	130	56	1	0	0	0	0	0	0	187
		計	114	241	185	250	282	203	218	239	2	1,734
	その他	<u>男</u> 女	79	172	138	198	186	137	141	140	1	1,192
	C 05 IE		35	69	47	52	96	66	77	99	1	542

^{※「}原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、 原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

(9) 職業別、原因・動機別の状況

職業別に最も多い原因・動機別の状況を見ると、「有職者」は「健康問題」、「学生・生徒等」は「学校問題」、「無職者」は「健康問題」となっている。

さらに男女別で見ると、「有職者」では男性は「勤務問題」、女性は「健康問題」が最も多い。 加えて「学生・生徒等」では男女ともに「学校問題」が最も多くなっている。「無職者」では男女 ともに「健康問題」が最も多くなっている。

表3-5

【神奈川県】 職業別、原因・動機別自殺者数(令和4年)

◢			沙、尽		<u> 幾別日</u>						
	職業	別				無	職				
			有職者	学生・						⊼.≡¥	合計
_			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生徒等	無職者	主婦	失業者	年金・雇 用保険等	その他	不詳	'D'aT
万	因•動機別			土促寺		土畑	大耒旬	生活者	その他		
		計	752	87	858	136	124	369	229	48	1,745
	合計	男	579	64	448	0	90	239	119	34	1,125
		女	173	23	410	136	34	130	110	14	620
		計	136	10	158	41	13	65	39	8	312
	家庭問題	男	101	8	70	0	7	42	21	6	185
		女	35	2	88	41	6	23	18	2	127
		計	203	17	492	84	43	249	116	16	728
	健康問題	男	125	10	233	0	27	158	48	9	377
		女	78	7	259	84	16	91	68	7	351
		計	143	7	111	2	47	28	34	13	274
	経済・生活問題	男	135	4	88	0	38	21	29	12	239
		女	8	3	23	2	9	7	5	1	35
		計	197	0	16	0	13	1	2	1	214
	勤務問題	男	160	0	15	0	13	1	1	1	176
		女	37	0	1	0	0	0	1	0	38
		計	26	3	9	0	3	2	4	2	40
	交際問題	男	19	3	3	0	1	1	1	1	26
		女	7	0	6	0	2	1	3	1	14
		計	0	34	1	0	0		1	0	35
	学校問題	男	0	25	0	0	0		0	0	25
		女	0	9	1	0	0	0	1	0	10
		計	47	16	71	9	5		33	8	
	その他	男	39	14	39	0	4		19	5	97
		女	8	2	32	9	1	8	14	3	45

^{※「}原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、 原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

[※] 無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を 足し合わせたもの。

全国の状況は本県とほぼ同様であるが、「有職者」の男性では、本県は「勤務問題」が最も多いのに対し、全国は「健康問題」が最も多くなっている。

表3-6

【全国】 職業別、原因・動機別自殺者数(令和4年)

┸	<u>全国】 職業別。</u>		<u> </u>	<u>]機別</u> [<u> 目殺者</u>		<u> 和4年</u>	<u>) </u>			
	職業	別				無	職				
			15 . 1 .	N/ /I							
_	- = 146.04		有職者	学生・	無職者	1 1 1	4- 244 +/	年金・雇	7 0 //	不詳	合計
厉	☑ 動機別	/		生徒等		主婦	失業者	用保険等 生活者	その他		
		計	11,592	1,313	15,100	1,563	1,874	7,658	4,005	350	28,355
	合計	男	9,158	827	8,689	0	1,510		2,570	246	•
		女	2,434	486	6,411	1,563	364	3,049	1,435	104	9,435
		計	2,006	171	2,544	438	224	1,225	657	54	4,775
	家庭問題	男	1,486	109	1,252	430	167	692	393	38	•
	外庭问 超	女女	520	62	1,292	438	57	533	264	16	
		計	3,381	304			544		2,144	103	
	健康問題	男	2,337	149	8,986 4,756	1,010 0	387	5,288 3,131	1,238	59	12,774 7,301
) 医球门退	女	1,044	155			157	2,157	906	44	
		計			4,230	1,010					5,473
	経済・生活問題		2,441	61	2,072	46	775	550	701	123	4,697
	在月 土心问题	男女	2,247	44	1,734	0	703	425	606	102	4,127
		女	194	17	338	46	72	125	95	21	570
	勤務問題	計	2,672	8	282	3	181	30	68	6	2,968
	到伤问起	<u>男</u>	2,296	6	231	0	148	25	58	5	2,538
		女	376	2	51	3	33	5	10	10	430
	大阪 88 86	計	515	78	216	7	64	52	93	19	828
	交際問題	<u>男</u>	325	53	97	0	36	20	41	10	485
		女	190	25	119	7	28	32	52	9	343
	## ## 88 8 <u>2</u>	計	4	550	25	0	0	0	25	0	579
	学校問題	男	4	368	20	0	0	0	20	0	
		女	0	182	5	0	0	0	5	0	187
	7 0 14	計	573	141	975	59	86	513	317	45	
	その他	<u>男</u>	463	98	599	0	69	316	214	32	1,192
		女	110	43	376	59	17	197	103	13	542

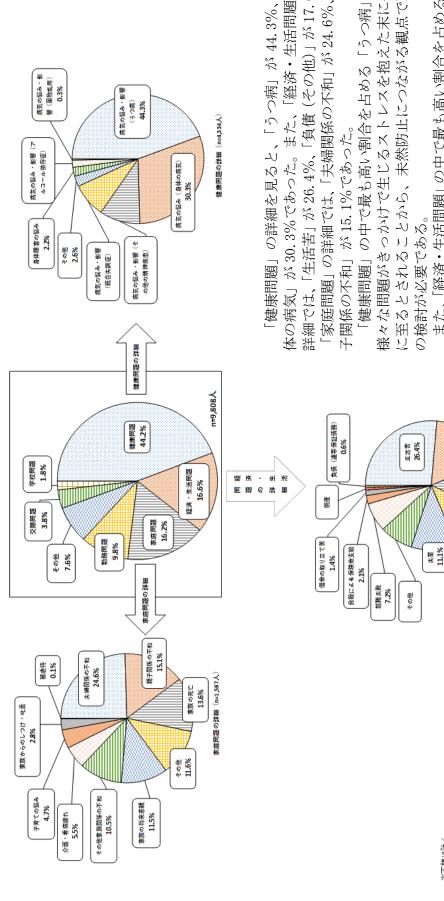
^{※「}原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としているため、 原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

[※] 無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を 足し合わせたもの。

原因-動機別内訳 (10)

自殺の多くは多様かつ複合的な原因や背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。原因・動機別の自殺者数の状況については、最大4つ まで計上されたものが公表されているが、過去10年間(平成25~令和4年)に神奈川県内で発見された自殺者12,891人のうち、原因・動機が特定できた 延べ件数 9,808 件の内訳を分析したところ、「健康問題」が 44.2%を占め、次いで「経済・生活問題」が 16.6%、「家庭問題」が 16.2%であった。

【神奈川県】原因・動機別自殺者数(直近 10 ヵ年(平成 25 年~令和4年)集計) 図3-13



体の病気」が30.3%であった。また、「経済・生活問題」の 詳細では、「生活苦」が 26.4%、「負債 (その他)」が 17.0%、 「家庭問題」の詳細では、「夫婦関係の不和」が 24.6%、「親

「健康問題」の中で最も高い割合を占める「うつ病」は、 様々な問題がきっかけで生じるストレスを抱えた末に発症 に至るとされることから、未然防止につながる観点で取組 また、「経済・生活問題」の中で最も高い割合を占める「生 活苦」は、社会情勢や景気動向の影響を大きく受けることか ら、生活困窮者対策と自殺対策との連携による取組も重要

真債 (その他) 17.0%

経済・生活問題の詳細(n=1,624人)

※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和(n)としている。

原因・動機別の終和 (9,808人) とは一致しない、

負債 (多重債務)

事業不振 11.9%

なっているが、令和4年の4つめが計上されている件数は9,808件中22件と影響は ※原因・動機は令和3年までは3つ以内、令和4年は4つ以内の複数計上が可能と 少ないと考えられることから、令和4年の4つめを含めてすべて計上している。 ※上記理由により、平成25年~令和4年の自殺者数の合計(12,891人)と、

(11) 年齢階級別、自殺未遂歴の状況

自殺未遂歴の年齢階級別の状況を見ると、男女別の割合では、すべての年齢階級で自殺未遂歴「あり」は女性が多くなっている。また、女性の中では前年度は「19歳以下」が63.2%であったが、令和4年度は「20歳代」が最も多く40.6%、次いで「19歳以下」、「50歳代」の順で30%を超えている。

男性は「30歳代」が最も多く、次いで「20歳代」、「40歳代」となっている。 総数の状況を比べても、神奈川県と全国の状況は同じ傾向である。

図3-14

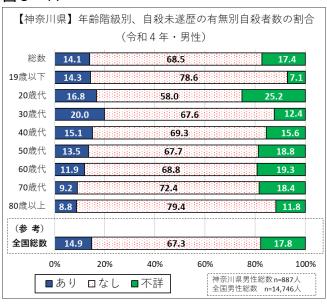
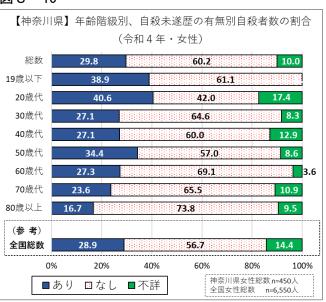


図3-15



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

(12) 同居人の状況

同居人の状況を年齢階級別で見ると、男女ともにほぼ全ての年齢階級において、同居人「あり」が多い。

総数の状況を全国と比べてみると、本県においては、男性は同居人「なし」が、女性は同居人「あり」の割合が若干多くなっている。

図3-16

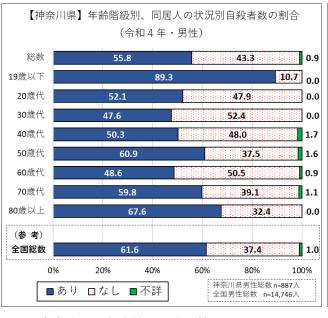


図3-17



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。